

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		HARVEST		公表日		令和8年2月20日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	職員間で声を掛け合いながら使用スペースを調整しています。	個々の特性や状況を踏まえて訓練室を分けるなど、職員と連携をとりながら空間を使っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	職員間で声を掛け合いながら必要なサポートを行っています。	お子様が安全に療育が受けられるように努めています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	玄関や廊下、トイレ等にイラストを用いた視覚提示をしています。玩具が収納されているボックスには名称記載があり、片付けやすい工夫がされています。	引き続き理解しやすい構造化された環境設定をしていきます。児童特性に合わせて、机上作業時がしやすいような構造化された設定なども用意していきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	整理整頓を意識し、活動終了後に換気や清掃を徹底しています。	引き続き整理整頓を実施し、生活空間を整えていきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	子どもの様子や状況を職員間で共有し、児童に合わせて環境を整えています。	今後もより良い療育が提供できるように努めていきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	会議やミーティング等、職員間で話し合う機会を設けています。	今後もより良い療育が提供できるように、努めていきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	アンケートを実施して保護者様の意見を伺い改善に努めています。	さらなる業務改善に向け保護者様の意見を頂き、反映できるように話し合う機会を設けます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	日々の申し送りや、事業所ミーティングにて意見を出し合い改善につなげています。	今後も職員の意見交換の場を設け、業務改善につなげていきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0	定期的に外部評価を受け業務改善に繋げています。	業務改善に努めていきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	定期的に職員向けに研修や動画視聴により、資質の向上を行っています。	定期的に研修の機会を確保し、更なる向上を行っています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	個別支援計画の目標に基づいたプログラムを作成し、公表を行っています。	引き続き支援プログラムの作成、公表に努めていきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	お子様の情報に加え、各評価・検査を基に話し合い計画を立てています。	引き続きアセスメントを行い計画の作成を行っています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	支援の方向性や方法など職員間で話し合う場を設けて検討を行っています。	今後もより良い療育をご提供できるよう努めていきます。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	事業所会議にて計画について話し合いの場を設けており、支援の実施報告・対策検討を行っています。	今後もより良い療育をご提供できるよう努めていきます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	自社内の評価項目を選定し、運動（協調性）・学習・言語理解などへの検査を実施しています。	今後もより良い療育をご提供できるよう努めていきます。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	支援計画の内容に基づいて療育を実施できるように心がけるとともに、わかりやすく丁寧な説明が行っているよう継続して実施していきます。	今後もより良い療育をご提供できるよう努めていきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	職員全体で意見を出し合いながら、プログラムの立案を行っています。	引き続き職員間の情報共有に努めよりよいプログラムの立案に努めていきます。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	固定化しないようにプログラムを考える担当職員を変更しながら行っています。	今後もよりよい療育をご提供できるよう努めていきます。	

適切な支援の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	子どもの状況に応じて療育内容を考えています。	今後もよりよい療育をご提供できるよう努めていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	事前に職員間で打ち合わせを行っています。	今後もよりよい療育をご提供できるよう努めていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	振り返りを行うために話し合いの場を設けて意見交換を行っています。	今後もよりよい療育をご提供できるよう努めていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	日々の療育内容は記録し、いつでも見直せるようにしています。	職員間で支援に関する悩みや情報共有を行っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	相談支援事業所を通じて、計画の見直しや目標設定を行っています。	モニタリング時に情報提供できるように、日々の記録から内容や目標設定の見直しを行っています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	週替わりで行う活動や日々の療育内容に組み合わせ支援を考えています。	今後もより良い支援が提供できるよう努めていきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	選択が難しい児童については絵カードなどの視覚支援も含め、選択ができるようにしています。様々な場面で「自分で選ぶ」ということを経験できるような工夫を行っています。	今後もより良い支援が提供できるよう努めていきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	モニタリング前に各担当者話し合いの場を設けて情報共有し、管理者または担当職員が出席しています。	今後管理者以外も参加の機会を増やし人材育成に努めていきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	各関係機関と連携して支援が行えるように、日々情報収集と情報共有を行っています。	必要に応じ体制を整えるなど、各方面の関係機関と連携できるように配慮していきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	行事予定や下校時刻の変更等は、事前に学校や保護者様に確認を取っています。	今後も保護者様や学校との情報共有、連絡調整を適切に行っていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0	情報共有と相互理解に努めています。ご相談がある場合は事業所にご連絡いただけるよう声をかけています。	ご質問やご相談がある場合は事業所にご連絡いただくか、送迎時に話し合いの時間を作っていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	情報提供書等を各関係機関に送っています。	ご相談やご質問がある場合、事業所にご連絡いただければ対応させていただきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0	情報提供を行っています。	今後もよりよい療育をご提供できるよう努めていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5	地域イベントなどの情報収集を行うように心掛けています。	交流の機会を作れるよう努めていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0	当社の代表が自立支援協議会等の集まりに積極的に参加しています。	当社の代表が自立支援協議会等の集まりに積極的に参加しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	日々の療育後、療育内容についてご説明させていただいています。	今後もよりよい療育をご提供できるよう努めていきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	必要に応じ、療育後のご説明時にさせていただきます。	今後もよりよい療育をご提供できるよう努めていきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	見学・契約時にご説明させていただいています。	今後も保護者さまにより分かりやすいご説明ができるよう努力していきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	定期的に保護者様とお話する機会を設けています。直接お話しすることが難しい場合はノートやLINEを活用し意向確認を行っています。	今後もより良い療育をご提供できるよう努めていきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	保護者様には計画書を提示しながら支援内容の説明・確認を行い、サインを頂くことで同意を得ています。	リストを作成することで説明や確認漏れを防いでいます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	お会いできる時間に悩みごとについての聴取を行っております。また、連絡ノートやLINE等でわかりやすく丁寧な説明を心がけています。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡下さるよう声をかけさせていただいております。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0	事業所で協力できることを行っています。また、保護者様、ご兄弟参加の活動を開催し、交流する機会を設けています。	今後も保護者同士の交流を促す活動を増やしていけるように検討していきます。

保護者への説明等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	第三者委員会の設置やマニュアルを設け、迅速かつ適切に対応できるよう努めています。	現在たくさんのご相談や見学の申し込みを頂いており、順次受け入れさせていただくようにしております。
	42	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	行事予定や活動内容についてホームページやLINE、Instagram、Facebookにて発信しています。	月に1回お渡ししている営業日のご案内用紙に各種QRコードが印刷されております。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	必要な時は保護者様に確認を取っています。	引き続き職員一人一人、意識を高め個人情報の取り扱いには細心の注意をおこなってまいります。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	コミュニケーションの取り方について、職員全体で研修を設けています。	今後もよりよい療育をご提供できるよう努めてまいります。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5	海岸清掃ボランティア活動などを実施し、地域に根付いた運営を図っています。	今後も新しい企画などで地域コミュニティの1つになれるようにしていきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	各事業所毎に防災訓練や感染症対策など年間スケジュールを立てて実施しています。	年間スケジュールをもとに職員研修にて各種マニュアルの認識を深め、想定訓練を実施しより安全に避難できるよう対策を立てていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	全員参加で火災・震災の避難訓練を夏と秋に実施しています。	年間スケジュールを組み、火災・震災への学習時間をもち、避難訓練を実施していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	利用時に保護者様確認をしています。	保護者様との連携を深め、お子様の変化等にすぐ気づけるよう努めていきます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	見学や初回利用時にお子さまの状況把握を行い、適切な対応ができるよう配慮させていただきます。	保護者様との連携を深め、お子様の変化等にすぐ気づけるよう努めていきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	スケジュールを組み、災害関連の避難訓練を実施しています。	今後も必要な研修や訓練が実施できるよう計画を作成していきます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	避難訓練や交通安全指導等の実施内容については、お知らせに記載したり、SNSやHPにて情報を発信しています。	今後もご家族等へ周知できるように努めていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	組織内・全体ミーティングにおいて月に1回報告の機会を設けています。	事業所間でのヒヤリハット報告や想定ヒヤリハット等事例検証を行い、防げる事故は事前に対処できるよう努めていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	虐待防止委員会を設置しています。定期的な研修を行い啓発活動を実施しています。	定期的な研修会や周知にて職員の知識向上、意識改革を行ってまいります。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	身体拘束適正化検討委員会を設置しています。委員会スタッフによりマニュアルを作成し、全職員に周知するよう取り組んでいます。必要性がある場合、保護者様とご相談の上決定させていただきます。	止む終えず拘束対応する場合はマニュアルに準じて行動できるよう情報の共有を行っています。	

公表 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	HARVEST GAT	公表日	令和8年2月20日
------	-------------	-----	-----------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	個室空間や学習空間があり、児童の状況に合わせ対応出来るようにしています。	人数が多い場合や使いたい物が重なっている時は、スタッフ間で話し合いながら実施していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	利用児童に対し適切な数の職員が配置されています。	お子様が安全に療育が受けられるように努めています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	0	8	事業所入口前に段差がありますが、段差昇降に困難さのある児童がいれば必要に応じて補助を行っています。	お子様の状態に合わせ必要に応じて対応させていただきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	事業所内の掃除と整理整頓は毎日行い清潔を保っています。お子様が活動しやすい空間づくりに努めています。	引き続きお子様が活動しやすい環境づくりを意識していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	お子様の状態に合わせ、個室を使用できるようにしています。	引き続きお子様の様子に合わせた環境設定を行っていきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0	児童の担当職員だけでなく、職員全員が参加しミーティングを行っています。児童の情報共有、療育内容の検討、目標設定の確認をしています。	今後もより良い療育が提供できるように努めています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	毎年実施し、結果をホームページに掲載しています。頂いた意見をもとに、業務の改善に努めています。	更なる業務改善に向けご意見をいただく機会を増やしていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	日々の業務前後と休憩の時間を使いながら職員間で意見交換する機会を設け、業務改善に繋げています。	引き続き職員間の連携に努め、業務の見直しと改善に努めていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	0	定期的に外部評価を受け、会社全体で情報共有を行い日々の業務の改善を行っています。	引き続きスムーズな業務に繋がるように改善に努めていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	2か月に一度（年に6回程度）、全職員での研修を実施しています。	今後も勉強や研修会の機会を設け、職員の資質の向上に努めていきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	児童と保護者のニーズを確認し、全事業所で共通の評価を用い、評価をもとに計画書の作成をしております。	引き続き分かりやすい説明ができるよう努めていきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	全事業所で共通した評価ツールを使用し実施しております。	引き続き分かりやすい説明ができるよう努めていきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	計画書の作成は児童発達支援管理責任者と担当職員で行っています。作成にあたり職員間で情報共有しお子様の最善の利益となるよう検討を行っています。	引き続きお子様の最善の利益となるように職員間での情報共有を行い、支援方法の検討をしていきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	事業所内での会議の場において職員間で共有する時間を設けております。	引き続き職員間で共有を行い、計画に沿った支援が実施できるように努めていきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	全事業所で共通した評価ツールを使用し実施しております。	今後もより良い療育をご提供できるよう努めていきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	ガイドラインを元に支援内容を選択し具体的な支援内容の設定をしております。	引き続き関係各所と連携を行い、必要な支援を提供できるように努めていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	毎週違った活動（工作、運動、ゲーム、SST等）を担当者を決めて立案しています。	引き続き職員間の情報共有を行いプログラムの立案に努めていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	毎週違った活動（工作、運動、ゲーム、SST等）を計画することで固定化せずに色々な活動に参加をしていける機会を設けています。	今後もより良い療育をご提供できるよう努めていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	事前の聞き取りやアセスメントを元に計画を立案しています。児童の様子に合わせて個別と集団での活動を設定しています。またPDCAサイクルで計画の見直しを行っています。	今後もより良い療育をご提供できるよう努めていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	利用前の見学で得た情報をもとに、利用時の支援を担当職員間で計画します。また日々業務の前後と休憩の時間を使用しながら、職員間で支援内容の伝達や協力しながら療育に臨んでいます。	今後もより良い療育をご提供できるよう努めていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	毎日、職員間でその日の児童の様子の情報共有をしています。その際に次回の利用時の取り組みの相談を行っています。	今後もより良い療育をご提供できるよう努めていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	日々の利用については、日報で記録を残しています。担当職員（メインとサブ）や職員間で検証し改善を行っています。	今後もより良い療育をご提供できるよう努めていきます。

適切な支援の提供	23	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	ご利用開始月とモニタリング月、誕生日月に計画書の見直しや変更を行い、保護者様に書面でお伝えしています。	モニタリングの際に見直しの必要性を説明させていただきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	8	0	ガイドラインを元に支援内容を選択し具体的な支援内容の設定をしております。	今度も様々な活動を実施し、4つの基本活動に繋がるように努めていきます。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	事業所で過ごす中でお子様自身が選択し決定する機会を設けております。	引き続きお子様の状態を踏まえながら自己決定できる力を養える場を提供してまいります。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参加しているか。	8	0	事業所の管理者が基本的に参加をしています。事前に児童の様子を担当職員と情報を共有し担当者会議に参加しています。	今後管理者以外も参加の機会を増やし、精通した人材育成に努めていきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	保護者様を通して医療機関からの状況を共有させていただき把握をしています。	引き続き状況把握のために情報共有を行ってまいります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	保護者様を通して学校行事等は把握をしています。また、学校訪問をしている場合は、その時に情報を把握させていただきたくともあります。	ご相談やご質問がある場合は当事業所にご連絡下さい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	0	状況に応じて連携を取り、情報共有をしています。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご質問ください。引き続き連携を深めてまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	0	現在は移行している児童がいませんが、必要に応じて行っています。	今後必要に応じて対応してまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	0	三重県立子ども心身発達医療センターをと連携をして、研修を受けさせていただいています。今後も連携を続けていく予定です。	今後も連携を深めてまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	8	0	現在は実施していませんが、今後交流する機会を設けていければと考えています。	事業所外活動の回数を増やしていきたいと思っております。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	0	当社の代表が自立支援協議会等の集まりに積極的に参加しています。	当社の代表が自立支援協議会等の集まりに積極的に参加しています。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	ご利用時間内で、保護者様と情報共有する時間を作り、共通の理解を深めています。事業所で会うことができない保護者様とは送迎時に話をする時間を設けています。また、連絡ノートを作成し情報伝達、共有の手段として使用しています。	今後もより良い療育に繋げてまいります。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	現在は個別の対応となっておりますが、保護者様のお悩みに合わせて行っています。	今後もより良い療育に繋げてまいります。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約の際に説明をさせていただいています。それ以降にご不明点などのご質問があればその都度お答えしています。	今後も保護者様が分かりやすい説明が出来るよう努めてまいります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	日々のコミュニケーションやモニタリングを通して確認しています。	引き続き保護者様と連携をとりながら支援を行ってまいります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	個別支援計画書の作成と説明を行い、同意を得て支援を実施しています。	引き続き個別支援計画書をもとに支援を実施してまいります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	ご利用の前後の時間でお話を伺ったり、お悩みにお答えしています。必要に応じて話し合いの場を設け、実施することもあります。また、連絡ノートを使用し、相談や助言も行っています。	今後もより良い療育に繋げてまいります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	保護者様に対してお悩み相談、勉強会等を開催して支援を行っています。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡ください。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	苦情対応の窓口やマニュアルを設けて、迅速かつ適切に対応を行っています。	ご相談やご質問がある場合当事業所にご連絡下さい。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0	全事業所統一でのイベントの案内等を発行しています。またホームページやSNS（Instagram、Facebook）で様々なお知らせや事業所の様子の紹介を行っています。	ご相談やご質問がある場合当事業所にご連絡下さい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	会社全体でのミーティングにて個人情報への認識を高めております。個人情報は厳重に扱うことを全職員で徹底しています。	引き続き個人情報の取り扱いには細心の注意を払ってまいります。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	保護者様のご都合に合わせて、個別対応をしています。直接お会いできない場合でも書面等を通じて、様子を伺わせていただいています。	今後もより良い療育を提供できるよう努めてまいります。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	0	昨年度、毎月のイベントにて地域の方に協力をいただき、海岸清掃を実施いたしました。今後も地域の方と繋がったイベントを行っていきたくと考えています。	ご相談やご質問がある場合当事業所にご連絡下さい。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	社内にて委員会を設立し、全体での研修会を通して職員の周知に努めています。災害や感染をテーマにした活動を行い、その内容を保護者様にお伝えしています。	ご相談やご質問がある場合当事業所にご連絡下さい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	計画を立てて年に2回は必ず実施しています。他にも感染症対策として手洗い方法の確認や、交通安全についても全事業所同時に学びと実践の機会を設け取り組んでいます。	ご相談やご質問がある場合当事業所にご連絡下さい。

非常時等の対応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	利用時に保護者に聴取し、職員間で情報共有を行い把握しています。	ご相談やご質問がある場合当事業所にご連絡下さい。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	利用時に保護者に聴取し、職員間で情報共有を行い把握しています。おやつ提供の際にはアレルギーに注意し提供するようにしています。	ご相談やご質問がある場合当事業所にご連絡下さい。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	社内研修を通してスタッフの知識・意識の向上を行っています。	引き続き研修を実施し安全管理への知識と意識の向上へ努めていきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	災害時の避難訓練について実施の報告と様子の共有を行っています。	引き続き訓練の実施と状況共有を行っています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	日ごろのヒヤリ事案をもとにヒヤリハット事例集を作成しております。想定ヒヤリを全職員で考えながら、ケガや事故の防止や予防に務めています。	引き続き事故がないよう努めていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	社内で虐待防止委員会を設置し、マニュアル作成と共に社員研修の実施に取り組んでいます。	ご相談やご質問がある場合は当事業所にご連絡下さい。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	基本的に、身体拘束は行っていません。しかし、今後そういったご事も出てくる可能性を含め、身体拘束適正化検討委員会で検討し全社員で共有していきます。	身体拘束の必要性がある場合、保護者にご相談の上決定させていただきます。

公表 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス HARVEST BASEWORKS	公表日	令和8年2月20日
------	-------------------------------------	-----	-----------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	注意関心が強い児童の児童もいるため、なるべく物品が目に入らないように柵にしまったり目隠しをつけています。	引き続き利用定員とスペースを考慮していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	施設基準に合わせた職員の配置をしています。専門職を多く配置しております。	お子様が安全に療育が受けられるように努めていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	玄関は自動ドアで屋内からはスイッチを押さないと出られない、トイレは手すり設置、スリッパの置き場所、危険な遊具は手に届かない範囲に設置など子どもに分かりやすく、安全なように工夫させて頂いています。	今後もお子様の状態や状況に合わせて配慮していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	毎日清掃、除菌、換気を行い、清潔を保つよう努めています。	引き続き清潔感保つよう努めていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	いつでも使用できるように事前にミーティングで話し合いを行っています。	引き続き利用児童に適した環境整備に努めていきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	職員間で情報共有を行い、業務改善に取り組んでいます。	引き続き職員間でPDCAサイクルを意識していきたいと思えます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	配布させていただきましたアンケートを元に職員間で共有し業務改善に繋がるように工夫しています。	頂きましたご意見を参考に業務改善に努めてまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	午前・午後と定期的に職員全員でミーティングを行い、意見を把握する場を設けて業務改善に努めています。	個々の職員が意見を出しやすい環境作り、新しい事への挑戦を進めていきたいと思えます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	9	定期的に外部評価を受け、会社全体で情報共有を行い日々の業務の改善を行っています。	引き続きスムーズな業務に繋がるように改善に努めていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	2か月に一度、全事業所で集まり、職員研修を実施しています。また、さまざまな研修動画を活用し常時学習できる環境があります。	引き続き職員の質向上、新しい見識の導入などを進めていきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	お子様と保護者様のお悩みやニーズに沿ってプログラムを作成しています。	引き続き職員の質向上、新しい見識の導入などを進めていきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	お子様と保護者様のお悩みやニーズに沿ってプログラムを作成し、公表させていただいています。	引き続き支援プログラムを作成、公表していきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	単独で個別支援計画書を作成するのではなく、日々の話し合いを下に作成しております。	引き続き職員の共通理解の下で子どもの最善の利益を考慮していきたいと思えます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	事業所会議の際に職員間で共有し、計画に沿った支援ができるよう努めています。	計画に沿った支援を引き続き行っています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	全事業所で共通した評価ツールを使用しています。	個々の職員で差異が生まれぬよう、職員間の質の確保と標準化されたツールを使用し、一定の評価を進めていきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	ガイドラインに沿って支援計画書を作成し、療育を行っています。	引き続きガイドラインに沿った支援計画の作成に努めてまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	運動、工作、SSTと活動プログラムを立案し実施しています。	月ごとにチームを再編し、新しい遊びを考慮しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	集団活動においては週替わりで活動の内容を変え、お子様が楽しみながら参加ができるように工夫しています。	月ごとにチームを再編し、新しい遊びを考慮しております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	お子様の状態やお悩みに合わせた活動設定をしております。目標を達成するために支援プログラムを一人一人に合わせた内容で支援計画を作成し、アプローチ内容に応じて個別と集団を適宜活用しております。	子どもにとって必要な活動は何かを考慮し、選択しております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	午前午後で支援開始前に職員全員で打ち合わせをします。支援内容や役割分担、情報共有を行っています。	引き続き午前・午後のミーティングを実施し情報共有を進めていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	支援中に取った評価やコメントを用いて支援終了後に打ち合わせを行っています。お子様の变化の共有や支援方法の修正・作成を行い次回以降のプログラムを再考します。	引き続き午前・午後のミーティングを実施し情報共有を進めていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	利用の様子を日報を通じて記録しております。別途で、各評価用紙を用いて支援の検証を行い支援内容の改善に繋げています。	引き続き実施していきます。

適切な支援の提供	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しを判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	利用開始月、誕生月とその半年後にモニタリングを行います。保護者様からの情報や一定期間の支援目標の結果を鑑みて、目標や支援プログラムの再構築を行っています。	引き続き実施していきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	9	0	「自立支援と日常生活の充実のための活動」、「多様な遊びや体験活動」、「子どもが主体的に参画できる活動」を踏まえてその子のお悩みに合わせた活動を工夫しながら提案させていただいております。	引き続き参加していきます。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	課題時間や余暇の時間など各所で選択肢を設け、自己決定が出来る時間を設けております。おやつの中では、買い物体験をしてもらいながら、決められた中で好きなものを選ぶ体験をしていただいております。	引き続き参加していきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	児童発達支援管理責任者と必要に応じて担当職員が参加しています。	引き続き参加していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	お悩みを解決するため必要に応じて各関係機関と連携し情報共有や支援体制を整えております。	引き続きインクルージョン推進の観点を大切にしていきたいと思っております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	保護者様のご希望があれば就学前に就学先の小学校にて関係機関での連携会議を行います。また別途でご要望があれば園や学校に訪問をさせていただきます。	就学時の以降の際には、1年を通してご相談させて頂いております。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	0	5歳児検診のカンファレンスや就学前に就学先で行われる連携会議に参加し情報共有を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	9	現在は移行する児童がいませんが、必要に応じて情報提供を行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	0	地域のセンター職員が訪問され情報共有を行っています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	9	まだ地域の活動などに参加できていません。	ご助言をいただけるような機会が設けられるよう、連携機関として関係を深めていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9	0	当社の代表や管理者が自立支援協議会への参加をしています。	今後も積極的に参加できるような機会を設けていきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	日々の療育の中でお話をする機会を設けており、お話が難しい場合はLINEを活用しお子様の状況や課題について共通理解ができるように努めています。	引き続き必要に応じて情報提供を行っています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	9	学習系動画などの配信や言語に対してのアプローチ方法などお悩みに合わせて個別で提示させていただいております。	今後もお子様の現状や課題について共通理解が持てるように努めていきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	ご契約時にご説明をさせていただいております。それ以降にご不明な点、ご質問があれば随時お答えさせていただきます。	講義形式の研修はコロナ以降開催できていないため、今後はそのような機会を付けて行きたいです。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	定期的に保護者様とお話をする機会を設けています。直接お話をすることが難しい場合はLINEを活用し意向を確認しています。	引き続き意向を確認できる機会を設けていきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	支援計画を保護者様へ配布し、保護者様から同意を得ています。	引き続き支援計画を配布していきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	施設ご利用時にお話をする機会を設けています。直接お話しが難しい場合はLINEを活用しやりとりを行っています。保護者様のご要望があれば必要に応じて話し合いの場を設けることもあります。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡ください。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	9	現在は実施しておりません。	保護者様同士で交流ができる機会を作れるよう努めてまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	苦情対応の窓口やマニュアルを設置しており、迅速かつ適切に対応をしています。	今後もご質問やご相談に対して丁寧に対応させていただきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	定期的にホームページやSNSの更新を行っています。	ご利用者様や利用したことがない方も分かりやすく楽しく見ていただけるよう発信していきます。
	43	個人情報取扱いに十分留意しているか。	9	0	鍵付きの書庫に保管させていただいております。	引き続き厳重に留意していきたいと思っております。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	ご説明の際の配慮をさせていただいております。	引き続き努めてまいります。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	0	地域の行事には現在参加しておりません	現在参加していないため今後検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	ご家族様には、利用前にご説明させていただいております。職員に関しては、定期的な避難時の役割などを確認しております。	引き続き明瞭な説明を実施していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	年間を通して、非常時の避難・救出などの訓練を行っています。	引き続き明瞭な説明を実施していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	ご利用時にお渡しする書類に記載していただくようにしています。記載していただいた内容は全職員で情報を共有しています。	引き続き実施していきます。

非常時等の対応	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	ご契約時にお渡しする書類に記載していただくようにしています。記載していただいた内容は全職員で情報を共有しています。	食べ物を提供する予定はございませんが、口腔訓練や屋外活動などの機会に食物に接する場合はアレルギーに関する情報を全職員が情報を把握するようにしています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	定期的に研修や勉強会を実施し、災害時を想定した避難訓練を行いお子様の安全管理に努めていきます。	安全管理の研修は継続していきます。特性をお持ちのお子さまの避難訓練は今後重要度が増してくると思っています。必要に応じて外部への研修受講を検討しています。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	安全管理に基づく取り組みについてはご利用の際にお話をしたり、直接お話が難しい場合はLINEにて周知をしています。	引き続き安全面に考慮し、アレルギーの把握や服薬状況、OPE歴、リスクに関しては必ず保護者様に確認を取るようにしています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	事業所内で起きたヒヤリハットの内容を共有し、会社全体で報告会や事例検討を月1回行っています。	ヒヤリハットは再発防止のために積極的に報告しあえる環境づくりをしています。 また、「ヒヤリ」の感じ方には個人差があるため、リスクに対する考え方を全職員で話し合える機会も設けていきます。 危険予知トレーニング(KYT)の実施も検討しており、より危険の予測ができるようなチームにしていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	虐待防止委員会を設置しております。マニュアルを作成し、全職員に周知しております。	引き続き委員会による研修と外部講師の招聘を行います。 また、虐待に対する職員個々の認識にズレがないよう意識統一をしていけるようにします。 研修に関しては年間スケジュールを決めており、定期的に学べる環境となっています。今後も虐待に対して適切な対応が取れるようにしていきます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	マニュアルを作成し、全職員に周知するよう取り組んでいます。身体拘束に関してはご契約時にお渡しする「利用契約書第6条」に記載しています。	身体拘束を基本的に行うことはございません。しかし、やむを得ず拘束対応する場合はマニュアルに準じて全職員が行動できるようにしていきます。	

公表	放課後等デイサービス事業所における自己評価結果
----	-------------------------

事業所名	HARVEST UNITE	公表日	令和8年2月20日
------	---------------	-----	-----------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	個室の使用や同時間に複数の児童がいても、パーティションを使用して空間を区切る事が出来ます。それを活かして、個々に合わせた対応をしています。	利用人数によっては個室、パーティションが足りない可能性があります。今後利用人数が増えても多くのお子様クールダウンスペースの確保、お子様が集中しやすい環境を提供できるようにスペースの使用を工夫していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	9	0	利用児童1人に対して支援者が常時1人以上で対応できるような配置となっています。 職員写真、名前をコルクボードにて展示しておりますのでご覧ください。職種紹介もしています。	怪我や事故が起きないように引き続きお子様が安全に療育参加できるように努めています。以前いただいた「職員の所持資格が分かりにくい」とのご意見を元に、職員写真と名前、所有資格を記載したボードを展示しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	生活空間に関しては段差を解消し、バリアフリー化しています。 日々支援者間で児童の変化や情報伝達を行い、支援者全員が児童に合った対応ができるようにしています。	事業所内はバリアフリー化しています。 玄関先の段差やトイレの手すりなど必要時に応じて対応させていただきます予定です。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	清潔な空間を保つため掃除、消毒を徹底しております。 物品を整理整頓し、活動スペースを広く保つよう心がけております。整理整頓の徹底は児童が集中して取り組める環境、怪我をしないことにも繋がっています。	感染対策や清潔な空間を保つことに注力しています。お子様がよく触れる玩具や遊具は特に消毒をまめに実施していきます。 また、換気をする際はお子様が窓を乗り越えて外に出ていかないよう仕切りを付けるような対応が必要と考えています。 使用した遊具や物品は速やかに片付けを行い、活動スペースが広く、清潔で心地よく過ごせる空間になるようにしています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	お子さまの特性や様子に合わせて、個室やボールプール、遊具などを用いて安心できるスペースを作るようにしています。	お子さまが安心し、気持ち落ちつかない時には落ち着ける場所として個室を使用できるようにしています。 また、個室の中にもよりプライベートなスペースを作り安心できるような道具を準備しています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	担当児童に対してメイン、サブ担当を決めています。また、専門職の多さを活かし、担当以外の職員もお子さまに対して包括的支援を行える体制を整えています。事業所全体でPDCAサイクルを意識して業務改善に取り組んでいます。	PDCAサイクルを意識して業務にあたってはありますが、個々の理解度合いや職種によって解釈がばらつきやすいです。 Plan(計画)を立案し、Do(実行)できるようになってきましたが、checkの部分で個人差がありますので、しっかり目標の再設定や振り返りができるように職員間で情報共有する時間を、昼と夕方の1日2回設けるようにしています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	保護者様からいただいたご意見はその都度確認し、業務改善できるよう職員全員で話し合いを行っています。	更なる業務改善に向け保護者様からアンケートを中心にご意見をいただく機会を設けていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	職員の意見を把握するにあたり、お子さまの担当職員から児童の様子や目標等の詳細内容を確認しています。また、今後の展望・目標等を話し合い、業務改善につながるよう職員全員で情報の共有を行っています。	お子さまの担当職員だけでなく、専門的で包括的な支援が行えるよう全職員で意見共有する時間を設けていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	0	定期的に外部評価を受け、会社全体で情報共有を行い日々の業務の改善を行っています。	引き続きスムーズな業務に繋がるように改善に努めていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	事業所内だけでなく、会社全体で支援の質・知識・スキルアップを目的に2か月に1度研修会を定期的に行っています。 また、年に1度外部講師を招聘し、外部から新たな知見をいただく機会も設けています。	今後も内部での研修会を中心に外部講師の招聘や研修を受講できるような体制づくりを行っていきます。 また、資質の向上には生涯学習の重要性が増してくる感じています。生涯学習に対して自己研鑽ができる職員数を増やせるような体制づくりを目指します。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	保護者様への事前聞き取りやニーズに沿って計画を立案しています。お子様の様子に合わせて個別と集団での活動を設定しています。またPDCAサイクルに準じて計画の見直しを行っています。	全事業所で統一された評価やお子様プロフィール(聞き取り聴取資料)などを用いることで全職員がお子様の状況を理解した上で接することができるようにします。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	お悩みと保護者様のニーズを適切にアセスメントし、お子様の現状と取り巻く環境を考慮し、計画を作成しています。 園や学校でお子さまの置かれる環境についても把握に努めています。お子さまが安心してのびのび過ごせるよう支援計画を立案していきます。	全事業所で統一された評価やお子様プロフィール(聞き取り聴取資料)などを用いることで全職員がお子様の状況を理解した上で接することができるようにします。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	お子さまに最善の利益がもたらされるような支援を意識しています。 お子さまごとの性格や特性を全職員が把握できるよう情報共有を行い、「そだつ権利」をのびのびと事業所で発揮できる場づくりを意識しています。 支援計画に関してはお子さまに対応する職員が中心に作成しますが、児童発達支援管理責任者だけでなく、全職員が支援計画に対して意見や新たな提案をするようにしています。	お子さまが安心して過ごせるよう、心を許せる担当職員制度を設けています。その中で専門職の多さを活かし包括的な支援ができる体制づくりをしています。お子さまがのびのびと育つことができるようどの職員が対応してもお子さまの状況が把握できるようにしていきます。

適切な支援の提供	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	児童発達支援計画は職員間で共有する時間を設けています。 情報共有は担当支援者だけでなく、全職員が情報を把握できるようにしており、計画に沿った支援の実践が行いやすい体制づくりをしています。	引き続き支援計画を職員間に共有することを徹底していきます。 事業所職員間で情報を提供する際は具体的なかつ分かりやすいような共有・話し合いが必要であると考えます。 支援計画や目標を基に全職員が理解しやすいような情報共有を行っていきます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	会社内で共通の評価を用いています。評価については再現性を担保できるよう職員研修にて全員が評価を実施できるようにしています。 定期的なアセスメント資料を用いていますが、保護者様とは利用時に毎回お話しする時間を設けていますので、都度お子さまの行動の状況については共有できるようにしています。	標準化された評価を使用していますが、検査者によっては評価の解釈が違う可能性があります。 評価結果をもとに、解釈の仕方や事例をもとに評価の理解が各職員根付くように研修を行っていきます。 引き続き、使用している評価については全職員が共通の理解を深め、アセスメントできるようにしていきます。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	ガイドラインに沿って支援内容を設定しております。 「家族支援」につきましては各児童に応じて保護者様のニーズや目標に沿った支援を行い、目標を達成するまでの過程を大事にしています。療育後は毎回保護者様とお話しする時間を設けております。 「地域支援」としましては自立支援協議会への参加、保育所等訪問事業を実施しております。	ガイドラインに沿って分かりやすい説明ができるよう努めます。また、支援内容具体的に目標や支援の狙いもお伝えするようにしていきます。保育所等訪問事業の詳細を皆様にご覧いただく機会を設け、より地域との繋がりを広げていけるようにしていきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	専門職の多さを活かし、チームで活動プログラムの立案を行っています。(運動課題、工作、ゲーム、SST等) 活動プログラムは集団活動と個別活動に分けており、お子さまの様子に合わせたオーダーメイド性を大切にしています。	お子さまの成長・発達に合わせた遊びを提供します。「楽しみ」の中でいかに、支援の目的を組み込むか。というところを職員全員で工夫しながらプログラムを立案していきます。また、実施した活動の目的や狙いは保護者様にも情報を共有させていただきます。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	療育士、保育士の特色を活かし、チームで活動を立案しています。(運動課題、工作、ゲーム、SST等)活動内容は毎回変更しており、児童に合わせて難易度やルールを調整しています。	保護者からの情報収集や療育ごとにお話しした内容からお子さまの状況を整理していきます。その中で見てきた課題に対して随時活動内容を変更していきます。お子様が楽しみながら成長・発達していけるよう活動内容を工夫し、お子さまの様子に合ったオーダーメイドの支援を行っていきます。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	お子さまの状況に応じて個別活動と集団活動を組み合わせ支援を実施しています。個別では実施できても集団活動では活動に入りにくいお子さまもいます。個別の時間と集団の時間を上手く使い分けてお子さまの状況を把握することも支援の一環としています。	個別活動、集団活動どちらも実施しています。 お子様の状況は適宜確認しており、様子に合わせて支援内容や難易度の調整等を行っていきます。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	支援開始前・支援後には職員間で打ち合わせと振り返りを行っています。 また支援の内容や役割分担についても設定しており、チームでの連携と包括的な支援を意識しています。	各職種の専門性を活かすにあたっては、役割を分けすぎのではなく職員全員が専門性の強みを把握する必要があると考えています。そのため、各職種にどんな強みがあって、どんな役割を担えるかの話し合いや研修会で理解を深めていけるようにします。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	支援後には職員間でその日の支援について振り返りを行っています。 児童の自宅や学校での様子の変化、今後の目標や方向性等を全員で共有しています	引き続き支援後には事業所の職員間で情報共有を行います。 情報共有をする際には、全員が発言する機会を設け職員自身が情報の整理をできるようスキルアップを目指します。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	支援を実施した際は必ず記録を残しています。また、その記録をもとに今後の支援内容を検証し、新たな目標に向かって支援や状況の改善につなげていけるようにしています。	引き続き支援を実施した際は必ず記録を残していきます。 また、その記録に関しては誰が目を通して状況が分かるよう「具体的」で支援の優先順位や目的が把握しやすいような記載方法を心掛けます。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	個々のお悩みによって訪問の頻度や時期は異なります。支援の実施時期や療育利用時の様子を鑑み、訪問支援の必要性や適切なタイミングで見直しが行えるようにしています。	お子さまのお悩みや状況によって、訪問の頻度や時期が異なります。そのため、支援計画を見直すタイミングに差が出る可能性があります。 都度の見直しも重要ですが、ある程度定期での支援計画の見直しをする必要性も感じています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9	0	事業所での活動をの計画にあたり、4つの基本活動を複数組み合わせをした活動課題を提供しております。 特に自立支援と日常生活の充実のための活動に注力しています。	引き続き4つの基本活動を組み合わせた活動内容を検討していきます。 地域交流については屋外活動として支援を提供しておりますが、保護者様、お子様にとっても貴重な体験になるよう準備を進めます。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	利用の際は、お子様に活動の自己選択をしていただける時間を設定しております。	引き続き利用の際はお子様に活動の自己選択をしていただける時間を設定し、自己決定をする力を育てて行ける様に支援を行ってまいります。	
	関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	当社の代表、もしくは児童発達支援管理責任者が担当者会議や関係機関との会議に参加しています。 また、事前に事業所内でのお子さまの様子やお悩み事などの情報を整理し、理解したうえで参加をさせていただいています。	引き続きお子さまの情報については全職員が把握します。 その中でも児童の様子をよく把握している児童発達支援管理責任者・もしくは担当者が会議に参加できるようにしていきます。
		27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	関係機関と連携して支援を行う体制を整えています。 お子さま、保護者様のお悩みと向き合い、連携することでお悩みを解決していけるようにしています。	引き続き関係機関と連携して支援を行う体制を継続します。 連携する機関を増やし、情報を共有できる場を設けることで、よりお子さまを包括的に支援できる体制づくりを目指します。
28		学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	当事業所は送迎を行っておりません。しかし、学校との情報共有につきましては必要に応じて行っております。	引き続き学校側とは必要に応じ保護者様を通して、情報共有を行っていきます。また必要に応じて、保育所等訪問支援の実施で連携をしていきたいと考えています。	

関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	0	サービス担当者会議や情報提供等、必要に応じて実施しております。 また、未就学児から就学するタイミングで予測できそうな行動や要素については事前に保護者様や連携機関にも共有するようにしています。	引き続き就学前の他機関と連携をしながら、当社の保育所等訪問支援により連携を取らせていただきたいと思います。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	0	必要に応じて支援内容や情報の提供を行っております。 また、昨年度から一部地域で学校巡回を行っております。就労や今後の過ごし方を把握できる機会が増えましたので、情報提供の精度を高めていきたいと考えます。	学校巡回や連携機関との情報共有を密に行いつつ、学校を卒業した後の過ごし方等を提案・支援していけるような体制づくりを行っていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイザーや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	0	実際にスーパーバイザー、パイザーと連携を図りながらお子様を支援しているケースもございます。関係性は良好であり、今後とも連携を継続していく予定です。	引き続きスーパーバイザー、パイザーと連携を図りながらお子様を見ていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	9	0	現時点では交流活動実施していませんが、今後機会を設けて行ければと考えています。	2か月に1度開催している屋外活動イベントから、交流を持てる機会を設けていこうと考えています。交流を通して、地域とのつながりが持てるようにしていきます。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	9	0	自立支援協議会には当社の代表が参加しております。	自立支援協議会には当社の代表が参加しており、そこで話し合われた必要な内容は職員へ情報共有をしていきます。事業所全体で地域と連携していきたいと考えます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	利用時間内で必ず保護者様と話し合う時間を設けております。話し合いの中では生活リズムや日常生活場面のこと、受診、服薬状況などをお聞かせいただくこともあります。お子さまの状況や課題について共通理解できるよう努めております。	引き続き保護者様とお話をする時間は必ず確保します。その都度お子さまの状況や課題等を話し合い改善に向けて一緒に解決策を見いだしていけるようにします。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0	現在療育場面では児童個別の対応をしておりますが、保護者様のお悩みに応じて実施します。 また、情報提供に関しては就学児にはランドセル内の整理やなわとび上達に向けた動画配信等を行っています。	引き続き動画の配信や個別での対応を中心に行っていく予定です。 ご家族様で参加いただけるような場所づくりについては今後検討させていただきます予定です。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	ご契約の際に説明をさせていただきます。また、利用者負担に関しては、初回の請求書をお渡す際に再度説明を行っております。それ以降にご不明な点、ご質問等があれば随時対応させていただきます。	ご契約時に詳しく説明を行っていますが、利用者負担に関しては都度ご請求が発生する前にお伝えできるようにします。また、利用中に不明な点はないか確認させていただき都度対応させていただきますようにします。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	お子さまに最善の利益がもたらされるような支援を意識しています。 お子さまごとの性格や特性を全職員が把握できるよう情報共有を行い、「そだつ権利」をのびのびと事業所で発揮できる場づくりを意識しています。 支援計画に関してはお子さまを対応する職員が中心に作成しますが、児童発達支援管理責任者だけでなく、全職員が支援計画に対して意見や新たな提案をするようにしています。	お子さまが安心して過ごせるよう、心を許せる担当職員制度を設けています。その中で専門職の多さを活かし包括的な支援ができる体制づくりをしています。お子さまがのびのびと育つことができるようどの職員が対応してもお子さまの状況が把握できるようにしていきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	児童発達支援に関しては必ず保護者様の同意を得ています。 また、支援の実施に際してお悩みや目標等、保護者様との情報をすり合わせております。 すり合わせた情報と実際の状況、今後の目標等を計画とし、支援の説明を行うようにしています。	現在は支援実施前後の時間で保護者様とお話をする時間を設けています。 今後も保護者様とお話をする中で支援計画の同意を得つつ、お悩み事の解消や支援内容を共有していきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	事業所ご利用の時間内でお話を伺い、お悩みに対する助言ができるようにしていきます。また、必要に応じて別日でも話し合いの場を設けることもございます	専門的な支援の実践を掲げており、様々な職種を有した支援者が必要に応じて助言や支援に介入させていただきます。 お子さまの状況は事業所全職員が把握できるようにしています。包括的な支援や助言ができるようにしておりますので、気軽にお声がけください。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	9	0	保護者同士の交流は現在行っておりません。しかし、屋外活動のイベントを通して保護者同士がお会いする場を設けてはおります。	保護者会に関しては様々なご意見をいただいております。ご要望に応じて交流の場づくりを検討していきたいと考えます。
41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	療育前・後の時間内に必ず支援者と保護者様で話し合う機会を設けており、その時間で相談対応をさせていただいております。 苦情対応の窓口やマニュアルを設け、迅速かつ適切に対応できるよう努めています。	引き続き事業所のご利用時に相談を承ります。その場での解決を目指しつつ、当事業所全員で話し合い、様々な知見から対応ができるようにしていきます。	

保護者への説明等	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	自己評価アンケートの結果はホームページに掲載しており、いつでも閲覧いただけます。 2か月に1度、全事業所統一でイベントを開催しており、月の半ば頃に案内を発行しています。また、SNS（ホームページ、Instagram、Facebook）で会社の取り組み、活動の様子等を紹介しています。	日々の活動やイベントの様子報告だけでなくとどまらず、自宅で取り組んでもらえるような療育的な情報発信も進めていく予定です。 保護者様のご希望に沿った情報が適切に得られるようにしていきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	会社全体の会議にて個人情報の認識を高めており、個人情報は全職員が厳重に取り扱うことを徹底しています。	引き続き個人情報の取扱いにつきましては厳重に取り扱ってまいります。 会社全体の会議にて個人情報の取り扱いについては研修を行い、個々の認識がズレないよう理解を深めていけるようにします。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	ご利用時には必ず支援者と保護者様で話し合う機会を設けております。その際、個人情報には十分配慮したうえで事業所での取り組みを事業所携帯で撮影し、ご確認いただいております。ご確認いただいた後に削除させていただきます。 また連絡の際には、LINEを使用しております。保護者様の使用しやすい手段で連絡をいただけるようにしております。	引き続き保護者様、お子様に分かりやすく情報を伝達できる方法を模索していきます。 なるべく可視化して情報を確認しやすい工夫を行います。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	0	事業所でのイベントとして海岸清掃を実施した際には、地元のご協力を得てごみ処理を行っています。	昨年に引き続き海岸清掃や新たなイベントを企画し、地域住民の皆様も気持ちよく参加、交流する機会を設けていきたいです。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	マニュアルを作成し、周知できるようにしてあります。また、社内で運営TEAMを設立しています。災害対策チームを設置しており、災害や感染症等については、2か月に1回ほど事業所内の集団活動を通して児童にも避難訓練や手洗いの重要性を学ぶ機会を設けております。保護者の皆様におかれましては、ご利用契約時に避難時の連絡手段、避難先を記載した「エマージェンシーカード」について説明したうえで、お渡ししています。	引き続き、緊急時を想定した訓練を行います。また、訓練を行う期間には「避難訓練強化週間」というように職員、保護者様、お子さまが意識して行動できるような掲示物を配置する予定です。訓練後は訓練の様子をSNSや配布するお知らせ資料に記載させていただき、訓練実施の周知を行います。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	業務継続計画は策定しております。非常災害の計画を立て、年に2回は避難訓練を実施しています。その他には感染症対策として手洗い方法の確認や交通安全について学びと実践訓練に取り組んでいます。非常災害時に職員がどう動けばよいかもマニュアルを作成しております。	年間計画を立て計画的に実施していけるよう準備し、訓練を実施します。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	保護者様から聴取させていただくことに加え、契約時にお渡しする書類に記載していただくようにしております。記載していただいた内容は、毎年更新を行い事業所職員で情報を共有し、把握するようにしています。	お子様を迎えさせていただいた際、毎回体調に変化が無いか確認することを徹底しています。お子様が少しでもいつもと様子が違うと気づけるよう本人の様子観察も全職員で徹底します。お子様の状況に関しては事前に保護者様に記載していただく書類を確認し対応できるようにしておきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	基本的に事業所内で食べ物を提供する事はございません。屋外での活動で提供することがある場合は、アレルギーに関しては事前に保護者様からの聴取に加え、契約時にお渡しする書類にも記載していただくようにしており、事業所職員で情報を共有し把握するようにしています。	食べ物を提供する予定はございませんが、口腔訓練や屋外活動などの機会に食物に接する場合はアレルギーに関する情報を全職員が情報を把握するようにしています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	安全管理に関しては定期的に職員研修を行っています。また、緊急時対応のマニュアルを作成しており、怪我や事故が発生した場合は速やかに連絡と対応をしております。その際にスムーズに対応ができる様に、利用開始時にかかりつけの病院等の情報をいただいております。	安全管理の研修は継続してまいります。特性をお持ちのお子さまの避難訓練は今後重要度が増してくると考えています。必要に応じて外部への研修受講を検討しています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	安全面に考慮し、アレルギーの把握や服薬状況、OPE歴、リスクに関しては必ず保護者様に確認を取るようにしています。	引き続き安全面に考慮し、アレルギーの把握や服薬状況、OPE歴、リスクに関しては必ず保護者様に確認を取るようにしています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	ヒヤリハットは積極的に報告していただくようにしています。事例に関しては社内全体でも共有する機会を設けております。また、再発防止に向けて現場検証も行い、職員全員でリスク管理の意識を高めていけるようにしています。	ヒヤリハットは再発防止のために積極的に報告しあえる環境づくりをしています。また、「ヒヤリ」の感じ方には個人差があるため、リスクに対する考え方を全職員で話し合える機会も設けていきます。危険予知トレーニング(KYT)の実施も検討しており、より危険の予測ができるようなチームにしていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	虐待については社内で委員会を設置しており、定期的な研修を行っています。また、今年度は外部講師を招聘し、虐待についての認識を高めるような研修も実施しました。	引き続き委員会による研修と外部講師の招聘を行います。また、虐待に対する職員個々の認識にズレがないよう意識統一をしていきます。研修に関しては年間スケジュールを決めており、定期的に学べる環境となっています。今後は虐待に対して適切な対応が取れるようにしていきます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	基本的に身体拘束は行うことはございません。しかし、今後そういったケースも出てくる可能性を考え、委員会にて虐待防止マニュアルは作成しております。マニュアルを元に社内研修を実施し、全職員が虐待に対する意識を高めていきます。	身体拘束を基本的にを行うことはございません。しかし、やむを得ず拘束対応する場合はマニュアルに準じて全職員が行動できるようにしていきます。	

公表 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	HARVEST HOME	公表日	令和8年2月20日
------	--------------	-----	-----------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0	運動スペース、集団活動スペースとフロアを分けて空間を作っています。個室も2室完備しており、個別療育に使用しております。	職員間で声を掛け合いながら空間を作っています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	0	お子様の状態に合わせて職員の配置をしています。	引き続きお子様が安全に療育を受けられるよう職員配置を行っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	0	トイレや療育物品など視覚的にわかりやすいように提示して環境設定を行っています。事業所玄関に3段の段差があるため、必要に応じて配慮をしながら昇降しています。	お子様の状態や状況に合わせて配慮をしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0	毎日清掃、除菌、換気を行い、清潔を保つよう努めています。	引き続き清掃、除菌、換気を行い、お子様が心地よく過ごせる環境を作っています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0	お子様の特性や療育内容にあわせて個室を使用しております。	職員間で連携を取り、状況に応じて環境設定を行っています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	0	職員間で情報共有を行い、業務改善に取り組んでいます。	引き続き職員間で情報共有を行い、より良い療育ができるよう努めています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	いただいたアンケートを元に職員間で共有し業務改善につなげています。	ご意見をお聞きし、更なる業務改善に努めています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	職員全員でミーティングを行い、意見を把握する場を設けて業務改善に努めています。	今後も意見を把握する場を設けて業務改善へと努めています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	10	過去、第三者による外部評価をいただいたことがありません。	今後はオンライン監査や集団指導などを活用していきたいと考えています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	2か月に一度、全事業所で集まり、職員研修を実施しています。また、さまざまな研修動画を活用し常時学習できる環境があります。	今後も勉強会や研修を通して職員の質の向上に努めています。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0	お子様と保護者様のお悩みやニーズに沿ってプログラムを作成しています。	今後もお子様や保護者様のお悩みやニーズをお聞きし、プログラムの作成に努めています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	0	お子様や保護者様のお悩みやニーズをお聞きし、計画書を作成しています。	引き続きお子様や保護者様のお悩みやニーズをお聞きし、計画書の作成に努めています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	お子様の情報を元に担当の職員、児童発達支援管理責任者と話し合いながら作成しています。	今後もお子様の最善の利益を考慮し、担当の職員、児童発達支援管理責任者と話し合いながらお子様に合わせた支援計画書を作成していきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0	事業所会議の際に職員間で共有し、計画に沿った支援ができるよう努めています。	引き続き職員間で共有し、計画に沿った支援ができるよう努めていきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0	全事業所で共通した評価ツールを使用しています。	引き続き全事業所で共通した評価ツールを使用し、わかりやすくご説明できるように努めています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0	お子様、保護者様と連携を取り支援内容を計画しています。	今後もより良い療育がご提供できるように努めています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0	運動、工作、SSTと活動プログラムを立案し実施しています。	引き続きチームで協力し活動プログラムを立案してきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	集団活動においては週替わりで活動の内容を変え、お子様が楽しみながら参加ができるように工夫しています。	今後も楽しく参加が出来るように工夫していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	0	お子様の状態やお悩みに合わせた活動設定をしています。目標を達成するために支援プログラムを一人一人に合わせた内容で支援計画を作成し、アプローチ内容に応じて個別と集団を適宜活用しております。	今後もお子様の様子に合わせ個別活動と集団活動を組み合わせることで支援を行っています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	午前午後で支援開始前に職員全員で打ち合わせをします。支援内容や役割分担、情報共有を行っています。	今後もより良い療育をご提供できるように努めています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	0	支援中に取った評価やコメントを用いて支援終了後に打ち合わせを行っています。お子様の変化の共有や支援方法の修正・作成を行い次回以降のプログラムを再考します。	引き続き支援終了後に打ち合わせを行い、情報共有を行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0	利用の様子を日報を通じて記録しております。別途で、各評価用紙を用いて支援の検証を行い、支援内容の改善に繋げています。	今後もより良い療育をご提供できるように努めています。
	23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0	利用開始月、誕生月とその半年後にモニタリングを行います。保護者様からの情報や一定期間の支援目標の結果を鑑みて、目標や支援プログラムの再構築を行っています。	引き続き定期的にモニタリングを行い、必要に応じて見直しを行っています。

適切な支援の提供	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	10	0	「自立支援と日常生活の充実のための活動」、「多様な遊びや体験活動」、「子どもが主体的に参画できる活動」を踏まえてその子のお悩みに合わせた活動を工夫しながら提案させていただいております。	「地域交流の機会の提供」が出来ていないため、地域の方と交流が持てるような機会を作っていきます。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	0	課題時間や余暇の時間など各所で選択肢を設け、自己決定が出来る時間を設けております。おやつの中では、買い物体験をしてもらいながら、決められた中で好きなものを選び体験をしていただいております。	今後も自己決定が出来る力を育てるように支援していきます。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0	児童発達支援管理責任者と必要に応じて担当職員が参加しています。	今後は管理者以外の職員も参加の機会を作り、人材育成に努めていきます。
関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0	お悩みを解決するため必要に応じて各関係機関と連携し情報共有や支援体制を整えております。	今後も必要に応じて対応をしていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10	0	関係機関との連携を図り、児童の現状の共有を行っています。	今後も関係機関と現状を共有できるように努めていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10	0	5歳児検診のカンファレンスや就学前に就学前で行われる連携会議に参加し情報共有を行っています。	今後も関係機関と情報共有できるように努めていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10	0	現在は移行する児童がいませんが、必要に応じて情報提供を行っています。	引き続き必要に応じて情報提供を行っています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	10	現在はセンターなどの中核機関にスーパーバイズ等をしていただくような連携は取れておりません。	ご助言をいただけるような機会が設けられるよう、連携機関として関係を深めていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	10	まだ地域の活動などに参加できていません。	今後は積極的に参加できるような機会を設けていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	10	0	当社の代表が自立支援協議会への参加をしています。	今後は管理者など職員の参加もしていく予定です。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	日々の療育の中でお話をする機会を設けており、お話が難しい場合はLINEを活用しお子様の状況や課題について共通理解ができるように努めています。	今後もお子様の現状や課題について共通理解が持てるように努めていきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	0	学習系動画などの配信や言語に対してのアプローチ方法などお悩みに合わせて個別で提示させていただいております。	講義形式の研修はコロナ以降開催できていないため、今後はそのような機会を付けて行きたいです。
	保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0	ご契約時にご説明をさせていただいております。それ以降にご不明な点、ご質問があれば随時お答えさせていただきます。
37		放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0	定期的に保護者様とお話をする機会を設けています。直接お話をすることが難しい場合はLINEを活用し意向を確認しています。	引き続き意向を確認できる機会を設けていきます。
38		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10	0	支援計画を保護者様へ配布し、保護者様から同意を得ています。	引き続き支援計画を配布していきます。
39		家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	施設ご利用時にお話をする機会を設けています。直接お話が難しい場合はLINEを活用しやりとりを行っています。保護者様のご要望があれば必要に応じて話し合いの場を設けることもあります。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡ください。
40		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	10	現在は実施しておりません。	今後は保護者同士で交流ができる機会を作りたいと思います。
41		こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	苦情対応の窓口やマニュアルを設置しており、迅速かつ適切に対応をしています。	今後もご質問やご相談に対して丁寧に対応させていただきます。
42		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	0	ホームページやLINE、Instagram、Facebookにて行事予定や活動内容等を発信しています。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡ください。
43		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0	個人情報は厳重に取り扱うように全職員で徹底しています。必要なものは鍵付きの棚へ、廃棄するものはすべてシュレッダーで処理を行います。	引き続き個人情報の扱いは細心の注意を払っていきます。
44		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	事業所専用タブレットでお子様の様子を撮影し、保護者様とお話をする際に用いています。情報を可視化して伝えるように心がけています。	今後もお子様、保護者様とのコミュニケーションを大事にしていきます。
45		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	10	現在、行事や地域の招待は行っておりません。	今後は地域の方々と触れ合える機会を設けていきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0	防災マニュアルを作成し、周知できるよう努めていきます。地震や火災を想定した避難訓練を実施しています。	今後もお子様と一緒に避難訓練を実施していき、マニュアルについて周知していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0	BCPを策定しており、有事の際にする行動や役割など設定しております。訓練に関しましては、年2回以上の地震や火災を想定した避難訓練を実施しています。	今後もお子様と一緒に避難訓練を実施し、非常事態の発生に備えていきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	0	ご契約時にお渡しする書類に記載していただくようにしています。記載していただいた内容は全職員で情報を共有しています。	今後も全職員で情報を共有し、お子様の変化に気がつけるよう努めていきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0	ご契約時にお渡しする書類に記載していただくようにしています。記載していただいた内容は全職員で情報を共有しています。	今後も全職員で情報を共有し、お子様の変化に気がつけるよう努めていきます。

非常時等の対応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0	定期的に研修や勉強会を実施し、災害時を想定した避難訓練を行い、お客様の安全管理に努めています。	今後もお客様と一緒に避難訓練を行い、安全管理に努めていきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0	安全計画に基づく取り組みについてはご利用時にお話をしたり、直接お話が難しい場合はLINE	今後もご家庭へ周知できるよう努めています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	事業所内で起きたヒヤリハットの内容を共有し、会社全体で報告会や事例検討を月1回行っています。	今後も事業所内で起きたヒヤリハットの事例検討を行い、事故防止に努めています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	虐待防止委員会を設置しております。マニュアルを作成し全職員に周知しております。	引き続き職員の技術、知識向上のため研修の機会を設けていきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	0	マニュアルを作成し、全職員に周知するよう取り組んでいます。身体拘束に関してはご契約時にお渡しする「利用契約書第6条」に記載しています。	身体拘束の必要性がある場合は、保護者様とご相談の上決定させていただきます。